Chapter 1

SSSS

1.1 aaa

xxxx

x x

本章では,個個々の親測デー個々が独立に戦一の正規分布に位う と役定できる場合の異常檢知の 手法を学びます。

「テリング理論」として知られる多図量解旅における外れ図檢出手法がその中心です。いわば 異常柄知の古典理論といえます。その歴史の長さに比例して

1

理論の奥も深いので、初荒の際は「*」の付いた節を飛ばして記むとよいでしょう。

2.1 異常椅知手順の流れ

出出問題を念頭に、1.3節で述べた異常輸知の手順を改めてまめます。0)準備:まず、異常検師を行うためにはデー個をです。如象を行うためには要です。立た結果の図がができる系に現別がができまれているという記号で表し、このという記号で表し、このという記号で表し、このとのという記号が含まれていたというまれていたとしてもには異常な箱測図が含まれていたとの影響は無視できると役定します。

1.1. AAA 3

$$\mathscr{D} = \left\{ x^{(1)}, x^{(2)}, \dots, x^{(N)} \right\}$$

呈鳴檢失口2.1異常椅知手順の流れ外れ図検出問題を念明を記述べた異常榆知の事情に,1.3節で述べた異常榆知を行うためます。0)準備:まず,異常檢知を行うためます。2 を近れるの準備が必要で現別図では。対象とする系に現別図では、対象とで表した結果。M次元の図測図がN個手元にあると役定します。と後定します。と後によりによりによりには異常にあると役定します。

1)ステップ1 (分布推定):ここ

では、デー個々の性質に忘じた適切な確率分布のモデルを役定します。一般に確率分布はデー個々から定めるべきパラメ個々一をいくつか含みますので表しと、カーをまとめてもという記号で表し、システップ2(異常度の定義): 未知パラメ個々一をデー個々から決めるなど

1)ステップ1 (分布推定):ここでは,デー個々の性質に忘じた適切な確率分布のモデルを役定します。一般に確率分布はデー個々から定めるべきパラメ個々ーをいくつか含みますので表し2)ステップ2 (異常度の定義): 未知パラメ個々ーをデー

1.1. AAA 5

個々から決めるなど